

目標値 算出根拠資料

基本方針 1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

○新体カテストの成績

R1 小学5年生 男子 54.68 点 女子 55.50 点

↓

R7 男女とも全国平均点を上回る

H28		H29		H30		R1	
小学5年生		小学5年生		小学5年生		小学5年生	
男子	54.01	男子	53.96	男子	55.59	男子	54.68
全国	53.92	全国	54.16	全国	54.21	全国	53.61
女子	53.99	女子	54.70	女子	55.30	女子	55.50
全国	55.54	全国	55.72	全国	55.90	全国	55.59

【目標の設定根拠】

- ・年度によりばらつきがあるが、常時全国を上回ることを目指す。

○運動（やスポーツ）をすることが好きな子どもの割合

R1 小学5年生 男子 69.3% 女子 52.7%

↓

R7 男女とも全国平均点を上回る

【小学校5年生 男子】

	2015	2016	2017	2018	2019
草津市	72.1	73.9	72.8	75.2	69.3
県	73.7	71.7	73.4	73.4	70.5
全国	74.0	73.0	73.2	72.9	71.2

【小学校5年生 女子】

	2015	2016	2017	2018	2019
草津市	51.6	49.9	52.1	51.6	52.7
県	53.8	52.6	53.7	53.1	51.3
全国	56.4	56.7	56.4	55.5	55.5

【目標の設定根拠】

- ・年度によりばらつきがあるが、常時全国を上回ることを目指す。

基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

○成人（20歳以上）の週1回30分以上のスポーツ実施率（全体）

R1 56.0% ⇒ R7 65%以上

年度	H28	H29	H30	R1
草津市	50.8	49.6	51.5	56.0
国	42.5	51.5	55.1	53.6

【目標の設定根拠】

- ・国のスポーツ推進計画および、草津市第6次総合計画と当該指標を用いているため、連携ができる。
- ・ハードルの高い目標であるが、国スポ・障スポや東京オリパラといった大規模大会の開催でスポーツに対する機運が高まる中、YMITアリーナ（くさつシティアリーナ）や（仮称）草津市立プール等スポーツ施設の新設・整備により運動の場や機会を創出し、各種施策や運動することの意義の周知啓発など、様々な施策が融合した効果として、スポーツ実施率が最適と考えられる。

○成人（20歳以上）の週1回30分以上のスポーツ実施率（年齢層別）

R1 20歳代52.9% 30歳代44.2% 40歳代52.5%

50歳代53.2% 60歳代58.5% 70歳代71.1%



80歳以上55.7%

R7 60歳代以下65.0% 70歳代以上（現状維持）

【目標の設定根拠】

- ・70歳代は既に高い数値であるため現状維持。
- ・80歳代はこれ以上数値を向上させることは困難であることから現状維持。
- ・他の年齢層は全体の実施率目標と同じに設定

目標値 算出根拠資料

基本方針3 競技スポーツの推進

○滋賀県民体育大会における草津市の総合得点

R1 57.83点（県5位）⇒R7 65.00点（県3位）

H29	H30	R1
62.00 ※5位	55.00 ※4位	57.83 ※5位

【参考】H29～R1の3か年平均

1位：109.83点（大津市）

2位：80.05点（彦根市）

3位：63.78点（東近江市）

【目標の設定根拠】

- ・現行計画と同じ目標指針ではあるが、数値を実現可能性の高い数値（県内3位）に設定。
- ・目標値として、県3位相当となる65～70点が妥当であると判断。

○激励金の交付件数（全国大会の出場者数）

年度	H28	H29	H30	R1(H31)
件数	74	78	82	86
人数	369	294	393	469

○中学校運動部活動全国大会派遣件数

令和元年度 3件（39人）

⇒R1 89件（508人）⇒R7 100件（600名）

【目標の設定根拠】

- ・激励金の実績交付件数としては、微増傾向にある。（H28比較で1.16倍）
- ・激励金の交付件数および中学校運動部活動全国大会派遣件数の合算値により算出。
- ・件数・人数ともに現状値を1.16倍にて算出

基本方針4 スポーツ環境の充実

○社会体育施設等の利用者満足度

R1 3.61 ポイント（5ポイント満点）⇒R7 4.00 ポイント

【目標の設定根拠】

- ・不満/やや不満/普通/ほぼ満足/非常に満足/の順に点数が1点～5点とつけられており、平均4点の「ほぼ満足」を目指す。

○市内のスポーツ施設等の利用者数

R1 682,171人⇒R7 800,000人

年度	H27	H28	H29	H30	R1(H31)
利用者数 (人)	671,034	405,150	457,011	456,868	682,171
備考	志津グラウンド廃止 ～H27.11		・野村テニスコート廃止 ～H29.6 ・三ツ池テニスコート H29.9～供用開始	市民体育館廃止 ～H30.7	YMITアリーナ (くさつシティアリーナ) R1.6～供用開始

【目標の設定根拠】

- ・(仮称)草津市立プール整備基本計画における年間利用者数69,000人(見込み)
- ・国スポ・障スポ等スポーツに対する機運の高まりや、YMITアリーナやプールの整備によるにぎわい創出の観点から

(現状値) (仮称)草津市立プール

$$682,171人 + 69,000人 = 751,171人$$

↓機運の高まり等

$$= \underline{800,000人}$$

目標値 算出根拠資料

基本方針5 スポーツによる地域の活性化

○広域的なスポーツイベントの参加者数

R1 9,150人/年 ⇒ R7 30,000人/年

2019年度（令和元年度）に草津市内で開催されたスポーツ・運動に関する広域的なイベント

イベント等の名称	開催回数	参加者	備考
草津川跡地公園での健幸イベント（健幸フェア）	1	1,412	
草津市駅伝競走大会	1	630	1チーム5名×126チーム
YMITアリーナでのイベント（Bリーグ）	2	4,800	滋賀レイクスターズ平均観客動員数 約2,400名/日
レイクサイドマラソン	1	2,300	県主催事業
合計	5	9,142	

↓
約 9,150名

2021年度（令和3年度）以降に草津市内で開催されたスポーツ・運動に関する広域的なイベント（見込み）

イベント等の名称	開催回数	参加者	備考
草津川跡地公園での健幸イベント（健幸フェア）	1	1,412	令和元年度据え置き
草津市駅伝競走大会	1	630	令和元年度据え置き
YMITアリーナでのイベント（Bリーグ等） （拡大）	9	18,900	・滋賀レイクスターズ平均観客動員数 約2,400名/日 ・滋賀レイクスターズのYMIT開催年間予定（R1）は6回 ・Vリーグや大相撲等のイベントも想定 ・にぎわい創出イベント（年3回程度）
レイクサイドマラソン	1	2,300	令和元年度据え置き
健幸都市くさつランフェスティバル（新規）	1	1,500	（見込）参加者数
合計	13	24,742	

↓↓ （仮称）草津市立プールで開催されるイベントや、
スポーツに対する機運の高まり
約 30,000名

○国スポ・障スポ滋賀大会参加者数（選手・監督、大会関係者、観戦者）

R1 — 人 ⇒ R7 50,000人

◇設定根拠

茨城国体（令和元年）および福井国体・大会（平成30年）における参加者数の実績

	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
茨城国体	4,119人	5,473人	29,202人	38,794人
福井国体・大会	3,534人	5,043人	23,535人	32,112人

※本市開催競技の実績

※大会関係者とは、大会役員や競技役員、係員のほか、ボランティア等も含む

※参加者数は延べ人数